

特集

②
③

「窯業技術センターの新たな取り組み」 中小企業デザイン力強化対策事業



- 長崎県産業デザインネットワークの設立
- 長崎デザインアワード2011の開催
- 長崎デザイナーズバンク

ご案内

③

平成24年度から窯業技術センターが取り組む 主な事業をご紹介します

戦略プロジェクト 海外輸出に向けた活魚輸出技術の開発

経常研究 中国・アジア市場に向けた新世代家庭用食器の開発

お知らせ

④

窯業技術センターの関係する開発品の配布 低温焼成陶土・耐熱磁器陶土・ながさき無鉛和絵具

退職者及び新任職員の紹介

コラム 窯の声

「陶磁器産業とデザイン」

窯業技術センター所長 振角 俊一

当センターでは、1年前戦略・デザイン科という新しい組織を設けました。陶磁器産業をはじめとする本県産業のデザイン力をさらに強化することで、商品の付加価値を高め、販路拡大につなげていくことを目的とした組織強化でした。

平成23年度から新たに「中小企業デザイン力強化事業」を実施し、152の企業・団体に構成する「長崎県産業デザイン・ネットワーク」を設立し、会員相互の交流を図っています。また、県内の優れた産業デザインを顕彰する「長崎デザインアワード2011」を開催し、食品、工業製品、パッケージなど164点の応募がありました。アワードには本県の陶磁器産地からの応募も多く、金賞、銀賞を受賞したほか多くの入賞、入選があったことは、日頃からこの産地が商品デザインに力を注いでいることの成果であり、陶磁器産業におけるデザインのポテンシャルが高いことをあらためて感じました。

デザインアワード等の事業は24年度も継続して実施します。この事業ではデザイナーズバンクを設けており、デザインの改良等の支援も行っています。興味のある企業（個人でも大丈夫です）は是非ご相談ください

長崎県産業デザインネットワークの設立

県内企業のデザインに対する意識の啓発及びデザイン力の向上を図るため、県では「中小企業デザイン力強化対策事業」に取り組んでいます。平成23年7月25日に、県内に事業所を置く企業・団体や支援機関、金融機関、デザイン関連企業、県内在住もしくは県出身のデザイナーおよびデザインに関する有識者によるネットワークを構築するため、「長崎県産業デザインネットワーク」を設立しました。現在の会員数は、152者※となっています。

ネットワークでは、「長崎ならではの」新しい価値の創造・発信、商品デザイン力の向上を目的として、会員相互の交流や情報交換を図るため、交流会やセミナーを開催するとともに、「長崎デザインアワード」や「長崎デザイナーズバンク」などの事業に取り組んでいます。

※会員数152者 [会員内訳:企業・団体78、デザイン関連企業22、デザイナー32、有識者3、金融機関2、支援機関15]



長崎県産業デザインネットワーク発足会 (H23.7.25)

長崎デザインアワード2011の開催

「長崎県産業デザインネットワーク」の主な事業として実施している「長崎デザインアワード」は、長崎県内で企画・開発された優れたデザインの商品を選定・表彰するものです。『長崎のグッド・デザイン』を発信することによって、商品デザイン力の向上に寄与することを目的に開催しています。

第1回目の「長崎デザインアワード2011」には、生活関連用品をはじめ、パッケージや家具、インテリア用品、医療・福祉機器、食品など幅広い分野から164点の応募がありました。平成23年11月29日に選定委員会を実施し、大賞をはじめとする14賞と入選品30点を選定し、長崎全日空ホテルグラバーヒル(11月30日)とJR長崎駅かもめ広場(3月17、18日)で2回の展示会を開催しました。

また、本アワードで選定された入賞者の中から数社に対して、市場調査や販路開拓などの費用が助成されています。



大賞 株式会社 たらみ
たらみフルーツ工房 フレッシュフルーツの生ゼリー、フレッシュフルーツのデザート



金賞 株式会社 中善 ododo



銀賞 白山陶器 株式会社
ミニしょうゆさし フラスコ



銅賞 株式会社 イネックス
防犯灯(LED照明器具)

【募集部門】

1. 生活デザイン部門
2. パッケージデザイン部門
3. 家具・住環境デザイン部門
4. 工業・医療・教育デザイン部門
5. 食品デザイン部門

【応募状況】

1. 応募総数 : 164点、80企業
2. 部門別応募一覧

部門	企業数	点数
1) 生活デザイン	28	70
2) パッケージデザイン	23	46
3) 家具・住環境デザイン	6	12
4) 工業・医療・教育デザイン	8	11
5) 食品デザイン	20	25
合計	85※	164

※5社が複数部門応募

長崎デザイナーズバンク

「長崎県産業デザインネットワーク」では、「長崎デザイナーズバンク」を設置しています。「長崎デザイナーズバンク」は、県内で活躍するデザイナーおよびデザイン関連企業を登録し、デザインを必要としている県内の一般企業に対して、相談内容に応じて適切なデザイナーを紹介するマッチング事業です。

商品を開発する際に、商品のデザインやパッケージデザインをもっとよくしたい、あるいは商品の販売促進を図りたいと考えている企業の相談に対応することで、広くデザインの必要性・重要性およびデザインに対する意識の啓発を図ることを目的としています。さらに、デザイン相談料の一部を県が負担することで、企業の商品開発におけるデザイン力の向上を図ります。

平成24年度から産業技術センターが取り組む主な事業をご紹介します

戦略プロジェクト研究（研究期間：平成24年度～平成26年度）

「海外輸出に向けた活魚輸出技術の開発」

国内における魚介類消費量の減少が続くなど国内マーケットが小さくなる中で、水産物の輸出は増加傾向にあり、特に経済成長の著しい東アジアに対しても長崎県産の高品質な水産物の輸出拡大が求められています。鮮魚については、県内の民間企業が20年前から中国市場へ輸出を行っており、魚種や出荷量を拡大し、輸出増に取り組んでいますが、航空便を利用した輸出のため輸出量に限界があります。このような状況で、本県の水産物の消費拡大とブランド化を進めるためには、流通上の輸送・鮮度保持技術の確立が必要であり、そのため、新しい輸出のツールとその技術開発が求められています。また、活魚の中国輸出については、他県の民間企業で試みが検討されていますが、大量に輸送されるものではなく、実験段階であります。

長崎県では、これまで総合水産試験場と工業技術センターが、活イカの高密度輸送技術を開発しており、海水浄化装置とその輸送方法に関する特許を出願しているなど、他県に先駆けた長時間活魚輸送技術の開発について取り組んでいます。

今回、新たな輸出戦略のもと、本県の高品質な水産物のより一層の輸出拡大を図るため、活魚を長時間輸送する際の収容条件等を把握し、効率よく運搬できる装置を開発することで海外への活魚出荷の実現が期待できます。具体的には、次の4件の要素技術について行政部局や各種組合等と連携しながら、試験・検討を実施します。

- ①長時間輸送に伴う魚の生理反応の把握
- ②活魚の海上輸送のためのハードウェア開発
- ③海水の浄化効率向上のための技術開発
- ④海外市場までの輸送システム開発の実証試験



経常研究（研究期間：平成24年度～平成26年度）

中国・アジア市場に向けた新世代家庭用食器の開発

中国は著しい経済成長を遂げ、2010年の国内総生産（GDP）が日本を抜き世界中の企業が注目する巨大市場となっています。中国に限らずアジア地域の各国は今後のさらなる経済成長の伸びが予想されており、今後国内需要の増加が厳しい状況にある陶磁器製品は、これらの国々への輸出を視野に入れた開発も必要となってきています。

陶磁器製品はライフスタイルや食文化と密接に関わっているため、各地域の生活様式や習慣、嗜好を踏まえたデザインの開発が必要となります。長崎県産業技術センターでは、平成24年度から3年間の経常研究で、中国市場を中心としたアジア地域における新世代家庭のライフスタイルに注目した陶磁器製品の開発を行い、本県陶磁器の海外での認知度の向上、ブランド化を目指します。

平成24年度は、陶磁器製品開発に関わるデータ収集を目的としたアンケート調査や海外での見本市等展示会への出展などを行います。研究と並行して製品の開発や成果の普及を計画しておりますので、この研究事業にご意見やご興味がございましたら、担当の戦略・デザイン科までご連絡をお願いします。

担当：戦略・デザイン科 久田松、依田

【窯業技術センターが関係した開発品をモニター試験として無料配布します】

●低温焼成陶土

従来の磁器より約 100℃低い温度 (1200℃) で焼成可能な陶土を開発しました。現在、陶土メーカーに作製を依頼しており、3月中に 1 トン入荷予定です。ご興味のある方には陶土または生地形で提供しますので、陶磁器科の河野までご連絡ください。

●耐熱磁器陶土

300℃の熱衝撃に耐える、吸水性のない白色の耐熱磁器を開発しました。現在、陶土メーカーに作製を依頼しており、3月中に 300kg 入荷予定です。ご興味のある方には陶土または生地形で提供しますので、陶磁器科の秋月までご連絡ください。



●ながさき無鉛和絵具

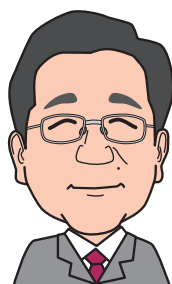
長崎県陶磁器上絵付協同組合、東彼商工会および窯業技術センターが今年度共同で開発に成功した、鉛を一切使用しない和絵具 (全 12 色) です。4月から上絵付け組合より販売予定で、現在、全 12 色を無償でモニター配布中です。ご興味のある方は陶磁器科の吉田までご連絡下さい。



【退職者及び新任職員の紹介】

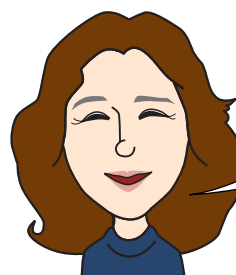
(退職者)

所 長：振角 俊一



お世話になりました
日本一の陶磁器産地
になりましょう。

総務係長：指方 綾子



3年間総務事務を
担当させていただき、
たいへんお世話になりました。
今後共よろしくお願いたします。

(新任職員)

所 長：山本 信 (広報課長から)

総務係長：池田 秀之 (対馬空港管理事務所係長から)

Kama

長崎県窯業技術センター 技術情報誌「窯」
平成24年3月29日発行 第36号 (年2回発行)
編集・発行 長崎県窯業技術センター

〒859-3726 長崎県東彼杵郡波佐見町稗木場郷605-2

Tel:0956-85-3140 Fax:0956-85-6872

URL: <http://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/>

印刷: 有限会社 井手写真製版